

熊川宿若狭芸術祭について

～「世界の文化交流拠点地域」の実現 歴史遺産(熊川宿)を活かして～

目的等 「熊川宿若狭芸術祭」は、優れた芸術文化を地域住民が身近に接する機会の提供とともに、国外の政府・芸術関係者、芸術大学関係者等と交流する機会づくりとして開催する。主なイベントとして、アーティストや評論家を招聘し、地域資源を活用した短期滞在制作、次いで制作された作品を主とする展覧会の開催、音楽キャラバン隊による音楽会等を開催することで、若狭熊川宿を「世界の文化交流拠点地域」として、より存在価値を高める。

名称 熊川宿若狭芸術祭

日程 令和5年9月28日(木)～11月20日(月)

主催 福井県、(公財)福井県文化振興事業団、若狭町

美術展 ー NPO法人若狭美&Bネット

監修：長谷光城(熊川宿若狭美術館長)

運営協力：野田訓生(福井県文化振興事業団芸術文化アドバイザー)

音楽会 ー (公財)福井県文化振興事業団、若狭熊川宿まちづくり特別委員会

レセプション ー 福井県、(公財)福井県文化振興事業団

《美術展》

熊川宿若狭美術館において、現代美術作家3名が初発プランから制作・完成までを観客とのコミュニケーションを図りながら公開し、完成した作品(記録写真など)を美術館に展示する。また、渡部葉子氏が評論の立場から参加し、伴走者として臨場批評を行う。

[現代美術作家]

河口龍夫(現代美術作家、筑波大学名誉教授、金沢美術工芸大学名誉客員教授)

大山里奈(現代美術作家、福島県双葉郡葛尾村移住定住事業コーディネーター)

長谷光城(現代美術作家、熊川宿若狭美術館長)

[評論家]

渡部葉子(美術評論家、慶應義塾大学アートセンター教授)

野田訓生(前福井県立美術館副館長、福井県文化振興事業団芸術文化アドバイザー)

(展示会①)

名称：「臨場・2023年9月28日から10月9日」

日時：令和5年9月28日(木)～10月9日(月) 10:00～16:00 最終日 14:00

※9月28日(木) 14:00～ オープニングトーク

場所：熊川宿若狭美術館

（展示会②）

名 称：「臨場・大山里奈、河口龍夫・長谷光城・渡部葉子・展」

日 時：令和5年10月13日（金）～11月20日（月）10:00～16:00 最終日 14:00

※期間内にギャラリートークを開催予定（日時調整中）

場 所：熊川宿若狭美術館

《音楽会》

「ハーモニーホールふくい」を運営する（公財）福井県文化振興事業団がホールから飛び出し、県内各地で「音楽のあるひととき」を届ける音楽堂キャラバン隊。芸術祭では、歴史的遺産と音楽の融合による地域文化の活性化により、新たな創造活動につなげる。

〔演奏家〕

近藤 薫（ヴァイオリン） 東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター
東京大学先端科学技術研究センター特任教授

戸上眞里（ヴァイオリン） 京都市立芸術大学准教授
※元東京フィルハーモニー交響楽団第2ヴァイオリン首席

張田早希（ヴィオラ） 京都市立芸術大学2年生ヴィオラ専攻生
（福井県出身） 「福井ジュニア弦楽アンサンブルセミナー」OG

柳澤明日花（チェロ） 京都市芸術大学4年生チェロ専攻生

遠藤柊一郎（コントラバス） 東京フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者
（母が福井県出身） ※楽団公演の傍ら、ミニコンサートを寺社、古民家等で開催

名 称：熊川宿若狭芸術祭コンサート

「近藤薫と仲間たちによる～おむすびコンサート～」

日 時：令和5年10月28日（土）14:00～15:30（無料）

※10月27日（金）熊川小学校にてアウトリートコンサート

「音の語り場」を開催（小学生にはサプライズ開催）

場 所：覚成寺（熊川宿）

《レセプション》

熊川宿を国際的な文化交流拠点地域に発展させる第一歩として、美術展と音楽会の開催に併せて、国内外の政府機関や美術系大学が参加するレセプション等を開催し、国内外の関係者と交流を深める。

名 称：熊川宿若狭芸術祭レセプション

日 時：令和5年10月29日（日）10:30～12:00

場 所：熊川宿若狭美術館／併設カフェ kirari

参加者：主催者および関係者 約20人程度

内 容：「臨場・大山里奈、河口龍夫・長谷光城・渡部葉子・展」ギャラリートーク
「近藤薫と仲間たちによる～おむすびコンサート～」出演者によるミニ演奏会
ティーパーティー（立食形式）